

堺自然ふれあいの森

ニュースレター 第37号

発行：平成30年10月 ふれあいの森パートナーズ(指定管理者)

台風21号被害報告

9月4日に近畿地方を北上した台風21号により、台風の進路の東側に当たる堺市内では、強い南風が吹き続け、家やガレージの屋根、信号機や街路樹などに、大きな被害を受けました。ふれあいの森でも、多くの木が倒れ、また、枝折れや掛り木など、修復が必要な場所は100箇所以上に及んでいます。

園路は舗装されておらず、道幅も狭いため、重機を使っての倒木等の処理ができず、ボランティア団体である「いっちゃんクラブ」の力を借りながら、手作業による復旧を行っています。そのため、復旧にかなり時間が掛かっており、今後も長期間にわたり、復旧作業を行う必要があります。

現在ご利用いただけるのは森の館から近みちルートと畑周辺、第二豊田川みちの一部などに限られ、まだ半分以上の園路は立ち入り禁止とさせていただきます。安全に散策できることが確認でき次第、順次開放してまいりますので、ご理解のほど、よろしくお願いいたします。



◀復旧作業の様子
ほだば
(シタケの楯場)



被害状況▶

(里みちと近みちとの分岐)



散策可能エリア (H30年10月20日現在)

※散策可能エリアの最新情報は、HP (<http://www.sakai-fureainomori.jp>) や facebook をご確認ください。

クビアカツヤカミキリ発見報告

クビアカツヤカミキリは、コウチュウ目カミキリムシ科の昆虫で、平成30年1月に環境省より特定外来生物に指定されました。体長は2.5cm~4cm(触角除く)で、オスは体長よりも長い触角が特徴です。本来は、朝鮮半島や中国、台湾、モンゴル、ベトナム等に生息しており、日本には貨物や木製梱包材等を輸入する際に紛れて持ち込まれました。平成24年に愛知県で初めて発見され以降、関東から西日本に掛けて分布を広げており、堺市内では、美原区や中区を中心に確認されています。ウメやモモ等の果樹やサクラ等の街路樹を好み、木にメスが卵を産むと、幼虫が木の中から食い荒らしてしまいます。加害を受けた木は、そのあと衰弱し、枯死します。

ふれあいの森では、平成30年7月16日に昆虫観察に来た小学生が、モモの木の幹にいた個体を捕獲し、森の館に届けてくれました。職員も実物を見るのは初めてでしたが、名前の通り「首(胸部の一部)が赤く、体全体が黒光りして艶がある」個体でした。発見した小学生と一緒にモモの木を観察しましたが、幸いにもカミキリが開けた穴や幼虫が食害している痕跡は見つかりませんでした。しかし、一度侵入すると根絶するのは難しいため、食害を受けそうな木を継続的に観察する必要があります。森の館のカウンターに標本を展示していますので、実物を確認し、園内で見つけたらふれあいの森の職員に教えてください。ご協力をお願いいたします。



▲クビアカツヤカミキリのメス

特定外来生物の「飼育・栽培・保管・運搬」「野外に放つ・蒔く・植える」「輸入」「販売」等は**原則禁止**されています。詳しくは環境省のHP (<https://www.env.go.jp/nature/intro>) でご確認ください。

イベント報告

● 茶摘みと茶揉み体験

(平成30年5月12日)

今年も、森の入口で栽培している茶畑で茶摘みを行いました。初めてお茶の歴史とお茶作りの工程について解説したあと、茶畑で若草色の新芽を摘みました。摘み取った茶葉を、ホットプレートで蒸して手で揉みました。子ども達が掌から漂うお茶の香りを嗅いでいるのが印象的でした。最後は、出来立てのお茶をみんなで味わいました。



● 大人のための自然観察会

(平成30年6月9日)

今回のテーマは「地衣類」です。秋田県立大学名誉教授の山本好和さんを講師に招き、「地衣類とは?」「地衣類とコケの違い」などについて解説を聞きました。そのあとは、肉眼やルーペを使いながら、園路沿いの木の幹や倒木、石などについている地衣類をじっくり観察しました。コケに似ているものやカビにしか見えないものなど、色んな種類の地衣類を見つけることができました。一部は持ち帰り、館内で顕微鏡を使って細部まで細かく観察しました。



● 森の手入れ (平成30年6月17日)

昆虫はらっぱで、斜面のネザサ等の草刈りを実施しました。参加者は足や手元に注意しながら、時には目の前に現れた生きものを観察しながら作業を行いました。



作業後は、昆虫調査を行い、発見した昆虫の種数を記録しました。定期的開催しているため、作業を通して季節ごとの環境や生きものの変化を知ることができました。



ふれあいの森の活動風景⑤ 「クラフト活動」

風合い豊かな自然素材を使った工作を通して、自然を楽しむお手伝いをするのがクラフト活動です。その活動の様子を取材してきました!



<2月 いろいろな木の実を使った工作>

クラフト活動は月に1度のイベント「クラフト教室」が活動日です。朝一番で打合せと準備を済ませ、10時からイベントがスタートしました。雪がちらつく寒い日でしたが、開始すぐから参加者が集まり始めました。

参加者はまず、見本の中から作りたいものを選び、必要な材料を集めていきました。一見同じように見える材料ですが、手に取ってみるとひとつひとつ色や形、雰囲気の違い、どれがいいかな?と親子で相談しながら選んでいる姿も楽しそうでした。そろえた材料で工作をして



▲迷いながら材料を揃える

いる間も、近くにいるスタッフが作業をお手伝いするので小さなお子さまでも大丈夫。貼り付けて、色を塗って...と、笑顔で工作に熱中していました。

手に取ってじっくりと観察することで、自然素材の奥深さを気付かせてくれるクラフト教室。大人も子どもも夢中になり、完成した作品を大事そうに持ち帰る姿が印象的でした。



▲かぼちゃの種でスズムシ作り



活動プロフィール
活動日：毎月第1日曜日
人数：8名

活動の世話役さんにインタビュー!

Q. 活動の目的(担う役割)は?

A. 自然の素材を自由に活用し作品を作り上げることで、初体験の人でも手軽に作れるお手伝いをしています。

Q. 一番やりがいを感じる作業(仕事)は?

A. お子さんたちが出来あがった時のうれしそうな表情に接した時です。



いちんクラブ
(世話役)
小林さん

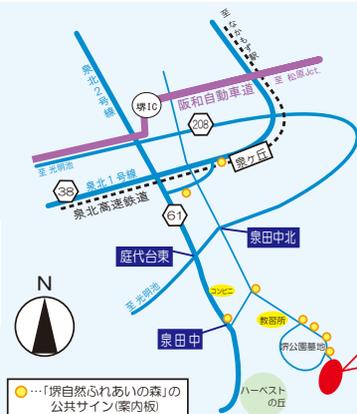
Q. 活動はどんな雰囲気?

A. スタッフが出しゃばらず、お手伝いしながら、我々も楽しんでます。

Q. みなさんに一言メッセージをどうぞ!

A. 材料をたくさん準備しています。なんでもスタッフに相談して作製してください。

交通案内



堺自然ふれあいの森

お車の場合は「堺公園墓地」を目指してお越し下さい。

●「堺自然ふれあいの森」の公共サイン(案内板)

●●●●●●●● お問い合わせ ●●●●●●●●

堺自然ふれあいの森 森の館

〒590-0124 大阪府堺市南区畑1740番地
TEL 072-290-0800 FAX 072-290-0811
ホームページ <http://www.sakai-fureainomori.jp>



発行：堺自然ふれあいの森 ふれあいの森パートナーズ(指定管理者)
※ふれあいの森パートナーズは、株式会社生態計画研究所とNPO法人いちんクラブの連合体です。